

令和6年度 入札監視委員会（第5回）議事概要

南関東防衛局

開催日及び場所	令和7年3月11日（火） 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第3会議室
委員 (◎：委員長)	梅村 靖弘（大学教授） 苑田 浩之（弁護士） 田才 晃（大学名誉教授） ◎細田 孝一（大学名誉教授） 松本 次夫（税理士・公認会計士） (敬称略：五十音順)

I 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審 議 対 象 期 間		令和6年10月1日～令和6年12月31日	
審 議 対 象 件 数		62件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）			
抽 出 案 件		7件	(審議概要) ・ 契約状況、指名停止措置状況及び低入札価格調査等について報告 ・ 抽出案件の概要説明
建設工事	一般競争（政府調達協定対象）	2件	
	一般競争(政府調達協定対象外)	3件	
	企画競争方式	0件	
	随意契約方式	0件	
建設コンサルタント業務等		2件	
員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回 答
		① 厚木米軍(6)雨水排水整備土木その他工事 (一般競争入札方式(政府調達協定対象)) 無効となった理由は何か。 総合評価の技術点の評価は誰が行うのか。 評価の際は業者名を伏せてあるの	調査基準価格を下回った入札を行った者には、施工体制が確保できているかを確認するための追加資料の提出を求めたが、追加資料の提出を断念したためその者の入札を無効としたものである。 調達部の事案担当課の職員で評価を行っている。 評価者には業者名は分からない

か。 辞退した1者は共同企業体だが、共同企業体を組んでまで参加したのに何故辞退したのか。 ② 横須賀(6)病院新設機械工事 (一般競争入札方式(政府調達協定対象)) 応募者が少ない理由は何か。 再公告事案とのことだが、同じ工事なのに当初公告したときから予定価格が上がっているのは何故か。 工事概要が地下から2階までの配管等の工事とのことだが、3階から5階までの工事は別会社へ発注するのか。 ③ 座間米軍(6)管理棟新設機械工事 (一般競争入札方式(政府調達協定対象外)) 入札回数が3回になった要因は何か。 再度入札の際は、仕様や条件を変えるのか。 本件の受注者は他工事にも参加しているが、この業者には声掛けしたり、よく応募してくれる業者なのか。 応募者が少ないため、頼み込んで応募して貰っていることはないか。 ④ 富士米軍(6)消防署新設土木工事 (一般競争入札方式(政府調達協定対	ようにして評価を行っている。 積算の結果、採算性が取れないと判断したため辞退したものと聞いている。 難易度が高い病院工事であること、また工事規模も大きいことから施工体制を整えられる者が少なかったからと考える。 再公告に当たっては、当初公告時から発注範囲を変更し、再公告を行ったためである。 一体不可分の工事であるため、本工事の受注者と随意契約を予定している。 1回目の入札において予定価格との乖離がかなりあったため、2回目の開札の前に金額の差が大きい項目について補足説明を行ったものの、差が縮まらなかったため再度の補足説明を行った後に3度目の入札を行ったものである。 変えることはない。 本業者は神奈川県の県央地区に本社がある業者で、横須賀地区や座間地区で工事がある場合には、声掛けを行っており、応募もよく行っている。 そのようなことはない。
---	---

象外)) 辞退者が多いが理由は何か。 総合評価方式の加算点の満点は工事ごとに違いがあるのか。 本件の入札状況を見ると、それぞれ価格が散らばっている訳ではなく、予定価格以内のものと予定価格を超過したもので2分化の傾向が見られる。 予定価格を超過したものは、近い価格で予定価格を超過しているため、同じようなところで積算を誤ったように見えるが、どう考えるか。 ⑤ 富士米軍(6)給水施設新設等 土木工事 (一般競争入札方式(政府調達協定対象外)) 応募者が多いということは、技術力をあまり要しない工事なのか。 本件の入札参加者は、④の入札参加者と似ているが、指名競争入札ではないのにこのような似た業者となるのは仕方が無いことなのか。 ⑥ 南関東防衛局(6)建築積算等 技術支援業務 (一般競争入札方式(政府調達協定対象外)) 積算等技術支援業務とはどういう業務か。 業務を行うに当たり特殊なパソコンソフトやアプリケーションを使用することはないか。	見積徴収が間に合わず応札価格が出せなかった、他工事の受注を優先したため配置予定技術者が配置できなかった、人手が足りなかったため積算が間に合わず応札価格が出せなかった等各者それぞれの理由で辞退したと聞いている。 基準額以上の工事については、加算点満点は43点、基準額未満の工事については、20点のものと30点のものに分けられている。 本工事の工事エリアは樹木が密生している場所のため、樹木の伐採の考え方に違いが出たのではないかと想定している。 延長は長いが、工事としては給水管を敷設していくだけの比較的単純な内容である。 富士地区の地元業者で同じような参加業者になる傾向が多い。 分かり易く言うと、職員の補助者として一緒に業務をして貰うと言うイメージである。 内訳書作成にはR I B I C、図面作成にはC A D、特記仕様書作成にはW o r d等の一般的に広く
---	---

		職員が行う積算業務をすべて丸投げで行うのではなく、一部の業務を行うのか。 時間単価に時間をかけて応札額を算出しているのか。 守秘義務の問題もあると思うが業務は受注者の事務所等で行うのか。 1日実働8時間として、人工をどれほど見込んで概算金額が5千5百万円になるのかを教えてください。 ⑦ 浜松(6)施設最適化総合設計に係る技術協力業務 (公募型プロポーザル方式) 今後設計に基づき様々な建物が建っていくとのことだが、その建物を施工するのが本件受注者ということか。 全体の工事金額はどれくらいになるのか。	活用されているソフトを使用している。 数字の入力、金額の入力、図面の編集等の作業を行っている。 人工を示した仕様書を元に応札額を算出している。 南関東防衛局が所在する庁舎内で業務を行って貰っている。 概算金額5千5百万円のうち、半分が人件費、もう半分が諸経費となる。 人件費としては、監理技術者は月1回延べ12回、担当技術者は2名を12か月常駐し、1か月当たり30時間の超過勤務を見込んでいる。 単価は監理技術者は5万7千円／人日、担当技術者は3万8千400円／人日である。 本件受注者が優先交渉権者となつて、工事の随意契約が整えば工事を施工することとなる。 概算金額で1,200億円程度を見込んでいる。
委員会による意見の具申又は勧告の内容		特に意見なし	
2. 談合疑義案件の処理状況について			
談 合 疑 義 案 件		総件数	0 件
工	談 合 情 報		(審議概要) ・ 該当案件なし
		0 件	

事	点 検 結 果 疑 義	0 件	
業	談 合 情 報	0 件	
務	点 検 結 果 疑 義	0 件	
○委員からの意見・質問		意 見・質 問	回 答
○それに対する回答等		なし	なし
委員会による意見の 具申又は勧告の内容		特に意見なし	
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について			
審 議 概 要		順位傾向の分析、落札率・応札率等の分析、調査項目別の平均落札率等の 分析等を行った資料を委員に配布・報告。	
○委員からの意見・質問		意 見・質 問	回 答
○それに対する回答等		なし	
4. 再苦情処理（再説明請求回答）			
・ 該当案件なし			

令和6年度 入札監視委員会（第5回）議事概要

陸上装備研究所

開催日及び場所	令和7年3月11日（火） 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第3会議室
委員 （◎：委員長）	梅村 靖弘（大学教授） 苑田 浩之（弁護士） 田才 晃（大学名誉教授） ◎細田 孝一（大学名誉教授） 松本 次夫（税理士・公認会計士） （敬称略：五十音順）

防衛省発注機関が締結する契約（建設工事等を除く）に関する審議

審 議 対 象 期 間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	
審 議 対 象 件 数	9 2 1 件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽 出 案 件	総件数 7 件	（審議概要） ・ 抽出事案の概要説明
一 般 競 争	4 件	
指 名 競 争	0 件	
随 意 契 約	3 件	
	意 見・質 問	回 答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	① 環境認識技術実証システム （その2） （一般競争契約（1者応札）） 環境認識技術実証システム（その2）（以下「その2」という。）について、⑤の環境認識技術実証システム（その1）（以下「その1」という。）と同時期の契約、納期で契約方式が違う点について説明頂きたい。	（その1）の製造にあたり、CBRN対応遠隔操縦作業車両システムの機能及び構造に関する知識並びに技術を有していることが必要なため公募とした。 公募の結果、（株）IHIエアロスペース1者のみが応募し、前述の公募要件を満たしていたため、随意契約を締結した。 （その1）は納入後、（その2）を製造する際に必要な貸付品として契約相手方に引き渡すため同時期の納期を設定している。 （その2）は、業態調査から汎用遠隔

		操縦装置の技術を有している会社が複数者あることから一般競争入札とした。入札の結果、(株)大林組の1者のみが入札に参加し、落札した。
	(その1)を(その2)の製造の際の貸付品としているが、不具合等が生じた場合、責任の所在が不明確にならないか。	品質保証として製品試験実施後、官に納入することを記載することにより、責任の所在を明確にしている。
	(その1)と(その2)の契約金額はほぼ同額であるが積算方法如何。	予定価格の算定にあたり、(その1)は、契約可能相手方である(株)IHIエアロスペースから参考見積書を徴収し、見積内容の説明を受け、予定価格を算定した。 予定価格の算定にあたり、(その2)は、唯一参考見積書を徴収できた(株)大林組の参考見積を基に内容を確認のうえ、予定価格を算定した。
	説明によると特許の関係から(その2)は一般競争であったが落札業者は実質1者に限られてしまうのでは。例えば、仕様書上の競争性は、確保されているのか。	仕様書上に貸付文書を記載しており、他業者が参入できるよう競争性を確保している。
	(その2)は、応札者以外に興味を示した業者はいたか。	なし。
	(その2)で実施するようなのは、他社でもやっているのでは。	本件は、一般競争入札(制限付)であり、入札公告に無人化装置の実績や試験場所を有する等の適合条件を記載している。入札の結果、適合条件を満たす会社が応札業者のみであったと考えられる。
	(その1)及び(その2)は、それぞれ適切に公募及び一般競争入札を行ったところであるが、結果としてそれぞれの要件を満たす者が1者であったということか。	貴見のとおりです。
	② X線計測装置 (一般競争契約(1者応札))	
	X線計測装置の更新とのことだが、更新前のX線計測装置は同じメーカーか。	X線計測装置の本体は同じメーカーでスウェーデンのScandiFlash社製である。
	契約相手方の「西華デジタルイメージは」は、製造会社の日本の代理店か。	ホームページ上では、「日本のパートナー」となっている。
	特定の業者が有利になる仕様になっていないか。	公告の内訳明細書に「同等以上(他社製品を含む。)」を記載することにより特定の業者が有利にならないよう配慮している。

	③ 高速赤外線カメラシステム (一般競争契約(複数者応札)) 一般競争契約の結果、複数者応札であり、落札率が100%になった経緯如何。 本件は、カタログ品とのことであるが、価格は設定されていないのか。 特定の業者が有利になる仕様になっていないか。 ④ 貫徹試験用鋼板標的等の製造 (一般競争契約(複数者応札)) 本件の製造役務には設計行為も入っているのか。 試験時の衝撃に耐えられる等の検査は行うのか。 ⑤ 環境認識技術実証システム (その1) (随意契約(公募時1者応募)) ⑥ エロージョン特性計測作業 (随意契約(公募時1者応募)) 契約金額は2億を超えるような内容の契約なのか。 落札率が99.96%と高い経緯如何。	予定価格の算定にあたり、インターネットでの市場価格調査を実施したが、価格の確認が出来なかったため、参考見積書を徴収できた2者(コーンズテクノロジー(株)及び(株)フォトロン)の参考見積を基に内容を確認のうえ、最も安価なコーンズテクノロジー(株)の参考見積価格を予定価格とした。 入札の結果、上述の2者が応札し、コーンズテクノロジー(株)が参考見積額と同じ最も安価な金額で入札したため、落札率が100%になった。 インターネットカタログでは、価格の表示はされていない。 公告の内訳明細書に「同等以上(他社製品を含む。)」を記載することにより特定の業者が有利にならないよう配慮している。 材料、形状及び寸法は仕様書に規定されているので、製造に係る方法等を除けば強度計算等の設計は含まれていない。 仕様書に規定する構造等について検査を行う。 ① と併せて審議 本件は、数発射撃毎に、レールガンを分解、レールのエロージョン特性(砲身の損耗のしやすさ)の計測及び組み立てを繰り返すため、作業工数を要する。また、レールガンの発射は、別会社の敷地において長期間行うため、発射場所の整備、物品の借り上げ等も必要であることから適切な契約金額である。 本件は、契約可能相手方である(株)日本製鋼所の参考見積を基に内容を確認のうえ、予定を算定したものである。契約にあたっては、予定価格に達するまで商議(5回)を行っており、
--	---	---

	⑦ 将来水陸両用技術の性能確認試験のうち水際機動試験用模擬地形等の準備役務 (随意契約(1者応札の後不落随意契約)) 本件は、他の案件と異なり一般的なものであるが、1者応札の後、不落随意契約になった経緯如何。 見積の徴収が難しいのは理解できるが、業態調査から可能性のある会社に声をかけられないものか。	落札率が高めになっているものである。 本件は、役務の実施にあたり複数者の参入が可能と見込まれることから一般競争入札を行った。公告において2者が興味を示したものの予定価格の算定にあたっては、唯一参考見積を徴収できた三菱重工交通・建設エンジニアリング(株)を基に内容を確認のうえ、予定価格を算定した。入札の結果、三菱重工交通・建設エンジニアリング(株)の1者が応札し、2回の入札を行ったが入札金額が予定価格を下回らなかったため商議に移行した。1回目の商議において提出された見積書の見積金額が予定価格を下回っていたので予算決算及び会計令第99条の2に基づく随意契約を締結した。 国民に疑念をもたれないよう慎重を期して対応したい。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に意見なし	
2. 談合疑義案件の処理状況について		
談 合 情 報 件 数	0 件	(審議概要) ・ 該当案件なし
○委員からの	意 見・質 問	回 答
○それに対する回答等	なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に意見無し	
3. 再苦情処理（再説明請求回答）		
該当事案無し		